

屋根のないミュージアム・堺 地域計画

目次

1. 実施体制	1
2. 計画区域	2
3. 中核とする文化観光拠点施設	3
4. 文化観光の総合的かつ一体的な推進に関する基本的な方針	6
5. 目標	8
6. 地域文化観光推進事業	9
7. 計画期間	15

屋根のないミュージアム・堺 地域計画

1. 実施体制

協議会	名称	堺市文化観光推進協議会		
申請者① 協議会の構成員 である市町村又 は都道府県	名称	堺市	所在地	大阪府堺市堺区南瓦町3番1号
	代表者	市長 永藤英機		
申請者② 中核とする文化 観光拠点施設の 設置者	名称	堺市 ※堺市博物館 さかい利晶の杜	所在地	大阪府堺市堺区南瓦町3番1号 ※堺市博物館 大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内 さかい利晶の杜 大阪府堺区宿院町西2丁1-1
	代表者	市長 永藤英機		
申請者③ 中核とする文化 観光拠点施設の 設置者	名称	公益財団法人 堺市産業振興センター ※堺伝統産業会館	所在地	大阪府堺市北区長曾根町183番地5 ※堺伝統産業会館 大阪府堺市堺区材木町西1丁 1-30
	代表者	理事長 利國信行		
申請者④ 文化観光推進 事業者	名称	公益社団法人 堺観光コンベンション協 会	所在地	大阪府堺市堺区甲斐町西1丁1番35号
	代表者	会長 隈元英輔		

2. 計画区域

堺市は、1600年の悠久の歴史の中で守られてきた百舌鳥古墳群を有し、また、中世に「黄金の日日」と言われる栄華を極めた環濠都市の面影が今も残っています。

これらの歴史的な文化資源を最大限活用することで、「屋根のないミュージアム」と言われるまちをめざします。

本計画においては、堺の歴史を象徴する次の2つのエリアを中心とした区域を計画区域とします。

- ①古代史のロマンを秘めた百舌鳥（もず）古墳群のほぼ中心にある大仙公園に位置する堺市博物館を核とした「百舌鳥エリア」
- ②由緒ある神社仏閣や歴史的なまちなみ、先人ゆかりの地や伝統産業など、数多くの歴史的な文化資源が集積し、本市の文化観光拠点であるさかい利晶の杜及び伝統の匠の技を体感できる堺伝統産業会館を核とした「環濠エリア」

環濠エリアを中心に今も伝わる堺の刃物づくりの技術は、鉄砲の金属加工技術が受け継がれたもので、そのルーツは古墳築造のための鉄加工技術と言われています。こうした両エリアを繋ぐ歴史的ストーリーを活かした取組を進めるなど、2つのエリアを中心に、来訪者が堺市内全域を周遊し、点在する歴史的な文化資源の魅力に触れることができる機会を創出します。



3. 中核とする文化観光拠点施設

文化観光拠点 施設名	堺市博物館
主要な文化資源	ニサンザイ古墳出土品（木製品・埴輪） いたすけ古墳出土 衝角付冑型埴輪 【市指定有形文化財】 大塚山古墳出土品（鉄製品など） 大阪府陶邑窯跡群出土品（須恵器など）【重要文化財】 慶長大火縄銃【府指定有形文化財】 住吉祭礼図屏風（複製）
主要な文化資源 についての 解説・紹介の 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介（施行規則第1条第1項第1号） <p>出土品の解説にあわせて当時の東アジア情勢の中で巨大古墳を築造した意義を解説し、社会情勢などの周辺状況を説明</p> <p>環濠都市堺を描いた屏風や火縄銃を展示し、中世に貿易として栄えた環濠都市・堺や鉄砲製造技術や近世の刃物技術について紹介し、堺のものづくりの歴史を解説</p> <p>その他各文化資源について、案内パネルや音声ガイドにおける解説を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第2号） <p>Youtube を活用し、館長や学芸員が展示品や敷地近くにある重要文化財を解説</p> <p>200 インチの大画面で CG 技術を駆使して制作した迫力ある映像を活用したシアターを上映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第3号） <p>日本語、英語、中国語、韓国語によるポータブル音声ガイド機の貸出</p>
文化観光推進 事業者との連 携の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・施行規則第1条第2項第1号の文化観光推進事業者 <p>堺観光コンベンション協会が運営する仁徳天皇陵古墳 VR ツアーの実施</p> <p>堺市、堺観光コンベンション協会、NPO 法人堺観光ボランティア協会にて情報共有、情報収集・分析等を定期的に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施行規則第1条第2項第2号の文化観光推進事業者 <p>交通事業者（南海電鉄、JR 西日本等）と連携した堺観光、堺周遊に関するイベントの開催や企画乗車券の販売</p>
文化観光拠点 施設名	さかい利晶の杜（堺市立歴史文化にぎわいプラザ）
主要な文化資源	さかい待庵（復元） 堺環濠都市遺跡出土織部などの茶道具類 お点前体験ができる三千家ゆかりの本格的茶室 与謝野晶子の実物資料
主要な文化資源 についての 解説・紹介の	<ul style="list-style-type: none"> ・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介（施行規則第1条第1項第1号） <p>茶道具出土品の展示とあわせて堺で茶の湯文化が浸透していた当時の時代背景等を解</p>

<p>状況</p>	<p>説</p> <p>さかい待庵や三千家ゆかりの茶室で、茶道三千家の指導のもと、にじり・正座・床の観賞・お菓子やお茶のいただき方などの茶の湯の作法を体験することで、本資源の魅力を体感できる。</p> <p>与謝野晶子の実物資料について、生い立ちもあわせて展示することで、晶子の感性が磨かれた背景とともに展示。</p> <p>その他企画展の開催、案内パネルやホームページにおける解説を実施</p> <p>観光ボランティアの解説付き無料ガイドツアーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第2号） <p>Youtube を活用した展示の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第3号） <p>館内 Wi-Fi を利用し、タブレットやスマホで日本語、英語、簡体字、繁体字、ハンゲルでの解説を実施</p>
<p>文化観光推進事業者との連携の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施行規則第1条第2項第1号の文化観光推進事業者 <p>堺観光コンベンション協会が当該施設の指定管理者の代表団体として施設管理、自主事業の実施</p> <p>堺市、堺観光コンベンション協会、NPO 法人堺観光ボランティア協会で情報共有、情報収集・分析等を定期的実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施行規則第1条第2項第2号の文化観光推進事業者 <p>交通事業者（南海電鉄、JR 西日本等）と連携した堺観光、堺周遊に関するイベントの開催や企画乗車券の販売</p>
<p>文化観光拠点施設名</p>	<p>堺伝統産業会館</p>
<p>主要な文化資源</p>	<p>火縄銃〈江戸中期 摂州住榎並屋伊兵衛作〉</p> <p>刀 光正(銘)【正清(後銘)】〈堺鍛冶の祖といわれている加賀四郎作〉</p> <p>打刃物製作用 越前式ベルトハンマー機</p> <p>手織緞通織機</p> <p>線香押出器〈江戸時代後期から大正時代前期まで使用したものを復元〉</p>
<p>主要な文化資源についての解説・紹介の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介（施行規則第1条第1項第1号） <p>堺は、古代から海外の文化を取り入れたことを起源とする産業が複数あることから、文化資源（刃物、手織緞通、線香）が堺の伝統産業となっている歴史的経緯、他の伝統産業とつながりを持つことをパネルで紹介し、その製法等を映像で解説</p> <p>映像、パネル等による紹介、解説と併せて、堺観光ボランティア協会による展示物の紹介、解説を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第2号） <p>映像、壁面パネル等による紹介、解説と併せて、文化資源（刃物、手織緞通、線香）等伝統産業の製法等を映像、字幕、音声で紹介し、理解促進を図っている</p> <p>海外需要開拓戦略コーディネーター(フランス人)による SNS を活用した情報発信</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介（施行規則第1条第1項第3号） 英語が堪能な職員を配置し、外国人に文化資源等展示物を解説 海外需要開拓戦略コーディネーター（フランス人）による外国人に対する通訳支援 文化資源（刃物、手織緞通、線香）等伝統産業の製法等を解説する映像の字幕、音声を日本語、英語、ハングル、簡体字、繁体字で実施
<p>文化観光推進事業者との連携の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施行規則第1条第2項第1号の文化観光推進事業者 堺観光コンベンション協会との連携により、さかい利晶の杜（協会が指定管理の代表団体）、観光案内所を通じて、より多くの来堺者に堺伝統産業会館のイベントや取扱商品等情報を発信。あわせて、堺伝統産業会館の来館者にさかい利晶の杜の情報を提供 ・施行規則第1条第2項第2号の文化観光推進事業者 交通事業者（阪堺電気軌道等）と連携した堺観光、堺周遊に関するイベントの開催や企画乗車券の販売

※ 堺市、堺観光コンベンション協会、堺商工会議所及び地元交通事業者（JR 西日本、南海電鉄、阪堺電軌、南海バス）と任意の連絡会を設け、各文化観光拠点施設をはじめとした地域全体の観光振興について、関係者間の連携体制を整備しています

4. 文化観光の総合的かつ一体的な推進に関する基本的な方針

4-1. 地域における文化観光を取り巻く現状

4-1-1. 主要な文化資源

- ・世界遺産 百舌鳥・古市古墳群の構成資産のうち、世界最大級の墳墓である仁徳天皇陵古墳をはじめ前方後円墳、帆立貝形墳、方墳、円墳といった様々な形状の古墳 23 基が百舌鳥エリアに所在しています。
(別紙：世界遺産構成資産一覧、堺市歴史的風致維持向上計画抜粋)
- ・江戸時代の鉄砲の生産現場が残る唯一の建物である堺鉄砲鍛冶屋敷井上関右衛門家をはじめ、江戸時代の町家や戦国武将ゆかりの神社仏閣が環濠エリアに点在し、各建造物には絵画や彫刻等の有形文化財が引き継がれています。(別紙：堺市歴史的風致維持向上計画抜粋)

4-1-2. 観光客の動向

- ・大阪府が公表している地域別延べ宿泊者数【推計値】では、堺市域の延べ宿泊者数は次のとおりです。
平成 26 年 78 万 5803 人 (うち外国人 16 万 7098 人)
平成 30 年 103 万 1854 人 (うち外国人 37 万 7813 人)
- ・堺市のホテル協会加盟ホテルでは、外国人宿泊者のうち東アジア地域 (中国、韓国、台湾及び香港) の宿泊者が概ね 8 割を占めています。
- ・堺市の調査では、平成 30 年に堺市内で観光をする方で堺市外から訪問された方は約 52% で、大阪府外からの訪問は約 18% となっています。

4-1-3. 他の地域との比較

【大阪市との比較】

- ・4-1-2 の大阪府公表数値では平成 30 年の大阪府域の宿泊者数に占める大阪市の割合は次のとおりとなっています。
大阪府全域 延べ宿泊者数 3989 万 7970 人
大阪市域 延べ宿泊者数 3375 万 7375 人 (84.6%)
- ・また、大阪観光局が実施する関西国際空港外国人動向調査では、大阪を訪問する外国人観光客の 90% 以上が大阪市内の観光スポットを訪れています。
- ・関西国際空港から入国する外国人観光客の多くが、堺市を素通りして、大阪市を訪れています。大阪市内には、道頓堀や大阪城、USJ など世界都市・大阪を代表する観光地が多数存在しています。一方堺市には、1600 年の長い歴史に裏打ちされた歴史的な文化資源が点在していることから、見る・食べる・体験するスポットを最大限活用し、大阪市内からの周遊を促進することで、多くの外国人観光客に、堺が有する歴史の価値や魅力、そして奥深さを感じていただけるものと考えています。

【和歌山県 (世界遺産登録市町村) との比較】

- ・和歌山県の調査では、世界遺産登録市町村の宿泊客総数は次のとおりとなっています。
平成 16 年 約 364 万人 (うち外国人 5 万人) ※世界遺産登録年
平成 30 年 約 383 万人 (うち外国人 30 万人)
- ・世界遺産登録から 10 年以上経過している中で、外国人観光客は増加を続けています。また、国内からの日帰り観光客も増加しています。なお、高野山の外国人宿泊者数の約 85% は欧米豪からの観光客となっています。
- ・歴史的な資産をしっかりと保全しながら、日本語と英語を併記した案内板や洋式トイレ、Wi-Fi 環境を整備するなど、外国人観光客受け入れのための対策を実施しています。
- ・日本の神秘的な魅力や宿坊等の日本的な体験が外国人観光客を惹きつけており、百舌鳥古墳群の価値や魅力、茶の湯文化や刃物等の体験といった堺の歴史的な文化資産の活用の参考となる事例が多く見

られます。

4-2. 課題

課題 1

- ・2019年（令和元年）7月に百舌鳥・古市古墳群が世界遺産登録されて以降、代表的な構成資産である仁徳天皇陵古墳のある百舌鳥エリアには多数の来訪者が訪れ、堺市博物館は前年度比で170%の入館者となりました。
- ・百舌鳥古墳群の価値や魅力を来訪者により分かりやすく伝えるための取組をさらに進めるとともに、快適に周遊・滞在できる環境づくりを進める必要があります。

課題 2

- ・課題1に記載のとおり、百舌鳥エリアには多くの来訪者がありましたが、環濠エリアへの周遊には十分に繋がらず、さかい利晶の杜の入館者数は前年度比で93%に留まっています。
- ・堺市域を周遊し、宿泊もしていただけるよう、百舌鳥エリアから環濠エリアへの来訪者の誘導を図るとともに、同エリアの文化資源を活用した取組を強化する必要があります。

※ 堺市博物館及びさかい利晶の杜の入館者数については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、3月3日から臨時休館しているため、令和2年3月は2日間の入館者数。

4-3. 文化観光拠点施設を中核とした文化観光の総合的かつ一体的な推進のため取組を強化すべき事項及び基本的な方向性

（取組強化事項1）

- ・百舌鳥エリアの来訪者受入環境の強化（課題1関連）

（基本的な方向性）

- ・百舌鳥エリアでは、堺市博物館の展示内容のさらなる充実や新たな技術を活用したコンテンツの導入等を図ることで、古墳群の価値や魅力を国内外の来訪者に分かりやすく発信するとともに、将来に継承します。

（取組強化事項2）

- ・環濠エリアの文化資源のさらなる活用（課題2関連）

（基本的な方向性）

- ・環濠エリアでは、国内唯一の江戸時代前期の鉄砲鍛冶屋敷を堺のものづくりの歴史を象徴する施設として整備し、町家歴史館である山口家住宅、清学院や由緒ある神社仏閣とともに、歴史を感じられる建造物を活用したまち歩き観光を推進します。さらに、伝統産業を活かした体験型コンテンツの充実など、地域固有の歴史的資源を活かしたまちづくりを進め、国内外への発信や幅広い地域からの誘客を図ります。

こうした取組により、各エリアの機能を強化するとともに、両エリアをストーリー性を持って繋ぐことで、「屋根のないミュージアム・堺」における周遊を促進します。

さらに、たくさんの方に「また堺で体験に来たい」と思ってもらえるよう、両エリアが有する文化観光資源を活用し、堺の魅力を体感できるコンテンツを拡充し、体験型観光を推進します。

5. 目標

5-1. 本計画で達成する目標

※1 堺市が実施する観光ビジター調査について、令和2年度に調査のあり方を検討する予定。

※2 各指標については、※1に加え、新型コロナウイルスの収束状況、政府の目標設定等を踏まえ、協議会において改めて検討する。

指 標	実績値		目標				
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
①来訪者の満足度（日本人） 単位：%	78	76	78	80	82	84	85
（指標の把握方法） 文化観光拠点施設におけるアンケート調査の平均値 （今後観光スポットなど範囲を広げてアンケート調査を実施予定）							
②来訪者の満足度（外国人） 単位：%	78	76	78	80	82	84	85
（指標の把握方法） 文化観光拠点施設におけるアンケート調査の平均値 （今後観光スポットなど範囲を広げてアンケート調査を実施予定）							
③来訪者数（日本人） 単位：千人	8,820	調査中	2,940	8,820	9,200	9,800	10,600
（指標の把握方法） 堺市が実施する観光ビジター調査をもとに計画区域への訪問率、出発地比率により推計							
④来訪者数（外国人） 単位：千人	90	調査中	15	60	120	150	180
（指標の把握方法） 堺市が実施する観光ビジター調査をもとに計画区域への訪問率、出発地比率により推計 （10年後の目標値及び計画期間中の目標値との関係） 来訪者数について10年後に概ね1.5倍程度に増加。うち外国人については、3倍程度の増加をめざす。 まずは、2025年大阪万博が開催される前年までに、コロナからの回復も踏まえ来訪者数については、1.2倍程度、外国人については2倍程度の増加をめざす。							
⑤再訪希望 単位：%	49	調査中	80	70	60	65	70
（指標の把握方法） 堺市が実施する観光ビジター調査から算出							

5-2. 目標の達成状況の評価

・5-1で掲げる各指標の達成状況について、堺市文化観光推進協議会において各年度末終了後速やかに把握し、改善策について各事業の事業主体と一緒に検討します。

6. 地域文化観光推進事業

6-1. 事業の内容

6-1-1. 文化資源の総合的な魅力の増進に関する事業	
(事業番号 1-①)	
事業名	百舌鳥古墳群の価値や魅力の発信
事業内容	<p>ピラミッド、秦始皇帝陵とともに世界の三大墳墓と称される仁徳天皇陵古墳を中心とする百舌鳥古墳群。1600年にわたり都市化が進む中でも保存され、世界遺産となった古墳群の普遍的な価値や雄大さなどの魅力を来訪者に分かりやすく伝えるため、百舌鳥古墳群ビジターセンターを整備し、世界遺産訪問の玄関口として、分かりやすく百舌鳥古墳群の価値をお伝えする展示を行う。さらに、古墳群を中心に堺の歴史をプロジェクションマッピング等の技術を活用した映像コンテンツで来訪者に体感してもらうとともに、堺の観光案内を行うことで百舌鳥エリアと環濠エリアの周遊促進を図る。</p> <p>また、博物館の魅力向上を図るため、仁徳天皇陵古墳の石棺を覆っていた石槨や出土埴輪などの推定復元品を新たに製作し、古墳から出土した実物と合わせて展示することで、より来館者が百舌鳥古墳群について理解を深められる内容とする。</p> <p>日本に16万基ある中でも日本古代の古墳時代の文化を代表し、また、類まれな物証を提供するものとして評価された百舌鳥・古市古墳群古墳を後世に引き継ぐよう、地域だけでなく全国の保全意識の醸成を図る。</p>
実施主体	堺市
実施時期	令和2年度（以降、展示内容の充実は随時）
継続見込	継続 市の予算で実施（デジタルコンテンツは堺観光コンベンション協会予算）
アウトプット目標	百舌鳥古墳群ビジターセンターの整備完了 堺市博物館の展示内容の充実 （仮称）古墳サミットの開催
関連目標	来訪者数（日本・外国）、満足度（日本・外国）
(事業番号 1-②)	
事業名	堺市博物館の魅力向上
事業内容	<p>堺市博物館において、環濠エリアへの関心を高め、百舌鳥エリアからの周遊を促進するため、国際貿易都市として栄えた中世をはじめとした堺の歴史に関する展示エリアのリニューアルを行う。堺のまちなみ模型や堺環濠都市遺跡のコーナーの更新、並びに中世の堺に纏わる関係資料の複製を製作することで、展示内容の充実を図ることで、百舌鳥エリアから環濠エリアへの周遊促進を図る。</p> <p>来訪者が堺の歴史・文化の魅力に触れ、堺を訪れたという思い出づくりに寄与するとともに、口コミ等による堺のPRや誘客を促進するため、新たなミュージアムグッズの開発を行う。ミュージアムグッズの開発にあたっては、堺市博物館の学芸員の知見をもとに地域の事業者との綿密な打合せのもとで、単なる土産物ではなく、多種多様な古墳や埴輪の形状の違いを再現するなどホンモノを感じることができるものとする。</p>
実施主体	堺市
実施時期	令和3年度

継続見込	継続、市の予算で実施
アウトプット目標	堺市博物館の中世エリアリニューアル 新たなミュージアムグッズの開発
関連目標	満足度（日本・外国）

(事業番号 1-③)

事業名	体験型観光の推進
事業内容	堺市博物館のある大仙公園において、博物館等で古墳群の価値を学んでいただいた後に、古墳群の雄大さ等を実際に体感いただくため、上空 100 メートル以上から眺望できるガス気球の設置を進める。 さかい利晶の杜において、当時栄華を極めた堺の街並み等を来訪者に体験していただけるよう VR・AR の技術を活用し環濠エリアの歴史を再現する。 環濠エリアを中心に受け継がれている刃物や線香、和菓子などの伝統産業について、事業者と協力して、堺伝統産業会館を中心に、実際の製造現場等で来訪者がものづくり体験できる体験型観光コンテンツを企画する。 環濠都市・堺を想起できるよう、かつての環濠沿いでライトアップをはじめとした夜間の賑わい創出を図る取組を進めるとともに、訴求力が強く伝統文化や伝統産業、歴史的町並みを体験できるイベント等の取組を強化する。 堺の伝統産業である自転車を活用し、密にならない手法での観光周遊を図る。
実施主体	堺市、堺観光コンベンション協会、堺市産業振興センター
実施時期	令和 2 年度～
継続見込	継続 気球設置・運営は民間事業者の予算で実施（調査等は市の予算で実施） 利晶の杜 VR・AR は指定管理者が運営（指定管理料は市の予算（利用料金収入を反映）） ものづくり体験企画や環濠エリアでの賑わい創出、自転車観光の促進は堺市産業振興センター及び堺観光コンベンション協会予算で実施
アウトプット目標	計画区域における体験型コンテンツの充実
関連目標	来訪者数（日本・外国）、満足度（日本・外国）

(事業番号 1-④)

事業名	町家活用推進事業
事業内容	環濠エリアに所在する国内唯一の江戸時代前期の鉄砲鍛冶屋敷（堺市指定有形文化財）について、文化財として保存修理工事を行った上で、堺のものづくりの歴史文化を象徴する施設「(仮称) 鉄砲鍛冶屋敷ミュージアム」として開館する。 また同じく環濠エリアにあり「町家歴史館」として公開している重要文化財山口家住宅、登録有形文化財清学院についてリニューアルを行う。 また各施設について、国内外からの来訪者の理解を深め、利便性の増進を図るため、解説・紹介パネル、展示資料及び展示ケースの整備、館内案内の多言語化等をはかる。
実施主体	堺市
実施時期	令和 3 年度～令和 5 年度（令和 5 年度「(仮称) 鉄砲鍛冶屋敷ミュージアム」開館）
継続見込	継続、市の予算で実施

アウトプット目標	町家の魅力向上
関連目標	来訪者数（日本・外国）、満足度（日本・外国）

6-1-2. 地域内を移動する国内外からの観光旅客の移動の利便の増進その他の地域における文化観光に関する利便の増進に関する事業

(事業番号 2-①)

事業名	市内周遊の促進
事業内容	国内外からの観光客が快適に百舌鳥エリア及び環濠エリアを周遊できるよう、Osaka Free Wi-Fi の整備を進める。 堺市博物館やさかい利晶の杜の割引やお土産、ホテルなどの優待特典付きの阪堺電軌及び南海バスで利用できる共通乗車券の活用や交通事業者による企画乗車券の発行を支援することにより、周遊観光やまち歩き、観光誘客の促進を図る。
実施主体	堺市、堺観光コンベンション協会
実施時期	既存事業の強化
継続見込	継続（令和2年度内目途）、市の予算で実施
アウトプット目標	Wi-Fi 環境の充実 企画乗車券等の発売
関連目標	来訪者数（日本・外国）、満足度（日本・外国）

6-1-3. 地域における文化観光拠点施設その他の文化資源保存活用施設と飲食店、販売施設、宿泊施設その他の国内外からの観光旅客の利便に供する施設との連携の促進に関する事業

(事業番号 3-①)

事業名	茶の湯文化の普及促進
事業内容	さかい利晶の杜や堺市博物館を中心に、かつて庶民まで茶の湯文化が浸透していた堺において、呈茶の体験等を通して、来訪者の皆さんにおもてなしの心を感じていただける取組を進める。 茶の湯に欠かせない、“दैあいもの”である和菓子。堺においては、南蛮貿易でもたらされた香料等を使用した和菓子が今も伝わってわり、長い歴史を有する和菓子店舗が点在している。さかい利晶の杜において、地域の和菓子店舗と連携し、現在実施している「堺 W-1（和菓子ワン）グランプリ」を強化し、賑わいの創出を図るほか、キャッシュレス決済の拡大による来訪者の利便性向上を図る。 新型コロナウイルスの感染拡大の影響が静まった後には、本格的な茶室で茶の湯を体験する市内児童・生徒の拡充を図り、おもてなしの心をもって来訪者を受け入れられる環境づくりを推進するとともに、市内店舗の売り上げ増や来訪者のお店巡りの促進を図られるよう、和菓子グランプリの情報発信を強化する。
実施主体	堺市、堺観光コンベンション協会
実施時期	既存事業の強化
継続見込	継続（令和2年度内目途）、市の予算で実施（W-1 グランプリは実行委員会予算で実施）
アウトプット	茶の湯文化の浸透

ット目標	和菓子店舗のPR
関連目標	満足度（日本・外国）

(事業番号3-②)

事業名	体験型観光の推進
事業内容	(事業番号1-③の一部再掲) 環濠エリアを中心に受け継がれている刃物や線香、和菓子などの伝統産業について、事業者と協力して、堺伝統産業会館を中心に、実際の製造現場等で来訪者がものづくり体験できる体験型観光コンテンツを企画する。
実施主体	堺市産業振興センター
実施時期	令和2年度～
継続見込	継続 堺市産業振興センター及び堺観光コンベンション協会予算で実施
アウトプット目標	計画区域における体験型コンテンツの充実
関連目標	来訪者数（日本・外国）、満足度（日本・外国）

6-1-4. 国内外における地域の宣伝に関する事業

(事業番号4-①)

事業名	国内外のプロモーション事業の実施
事業内容	JNTO や関西観光本部、大阪観光局等が実施する海外プロモーションや旅行社等が開催する国内の各種イベントへの出展の機会を活用し、堺の歴史文化の発信を行う。新型コロナウイルスの感染拡大の情勢に配慮しつつ、海外旅行博への出展や旅行代理店へのセールス訪問回数増による堺のPRの充実を図る。 ホームページにおける多言語での堺の観光情報の発信、SNS と連携した観光スポットの紹介などにより、コンテンツの充実を図る。
実施主体	堺市、堺観光コンベンション協会
実施時期	既存事業の強化
継続見込	継続（令和2年度内目途）、市の予算で実施
アウトプット目標	ホームページコンテンツの充実
関連目標	来訪者数（日本・外国）

6-1-5. 1. ～4. の事業に必要な施設又は設備の整備に関する事業

(事業番号5-①)

事業名	鉄砲鍛冶屋敷の整備（再掲）
事業内容	環濠エリアに所在する国内唯一の江戸時代前期の鉄砲鍛冶屋敷（堺市指定有形文化財）について、文化財として保存修理工事を行った上で、堺のものづくりの歴史文化を象徴する施設「(仮称)鉄砲鍛冶屋敷ミュージアム」として開館する。 国内外からの来訪者の理解を深め、利便性の増進を図るため、解説・紹介パネル、展示資

	料及び展示ケースの整備、館内案内の多言語化等をはかる。
実施主体	堺市
実施時期	令和3年度～令和5年度（令和5年度「(仮称)鉄砲鍛冶屋敷ミュージアム」開館）
継続見込	継続、市の予算で実施
アウトプット目標	堺のものづくりの歴史などの魅力向上、情報発信
関連目標	来訪者数（日本・外国）、満足度（日本・外国）

（事業番号5-②）

事業名	ガス気球の整備（再掲）
事業内容	堺市博物館のある大仙公園において、博物館等で古墳群の価値を学んでいただいた後に、古墳群の雄大さ等を実際に体感いただくため、上空100メートル以上から眺望できるガス気球の設置を進める。
実施主体	堺市
実施時期	令和2年度～
継続見込	継続、気球設置・運営は民間事業者の予算で実施（調査等は市の予算で実施）
アウトプット目標	体験型コンテンツの充実
関連目標	来訪者数（日本・外国）、満足度（日本・外国）

（事業番号5-③）

事業名	堺ミュージアム構想の策定・設計
事業内容	事業番号1-①及び1-②の記載に加え、博物館のさらなる魅力向上及び機能拡充を図るため、築40年が経過している博物館を核として、古墳群を中心とした堺の文化観光資源の魅力を伝える（仮称）堺ミュージアムを新たに整備するための基本構想及び基本計画、基本設計等を行う。 本構想の検討にあたっては、堺市が所有し堺市立文化館で展示しているアルフォンス・ミュシャに関する世界的なコレクションの魅力を最大限活用するため、同館の展示内容の充実を図りつつ、（仮称）堺ミュージアムへの機能統合を検討する。
実施主体	堺市
実施時期	令和3年度～令和7年度
継続見込	継続、市の予算で実施
アウトプット目標	堺ミュージアム基本構想及び基本計画、基本設計等の策定
関連目標	来訪者数（日本・外国）、満足度（日本・外国）

6-2. 特別の措置に関する事項

6-2-1. 必要とする特例措置の内容

事業番号・事業名	
必要とする特例の根拠	文化観光推進法第 条（ 法の特例）

特例措置を受けようとする主体	
特例措置を受けようとする事業内容	
当該事業実施による文化観光推進に対する効果	

6-2-2. オブジェ等の設置に関する取組等

申請の名称	
申請の根拠法令・条項	
設置の目的	
設置期間	
設置場所	
オブジェ等の構造	
オブジェ等の工事実施の方法（※）	
工事期間（※）	
復旧方法（※）	

（※）定まっている場合に記載してください。

また、設置場所付近の見取図その他の補足事項があれば参考資料として添付してください。

6-3. 必要な資金の額及び調達方法

（単位：千円）

	総事業費	所要資金額		調達方法
		自己資金	その他	
令和2年度	531,770	405,170	126,600	博物館等を中核とした文化クラスター推進事業 街なみ環境整備事業 社会資本整備総合交付金
令和3年度	253,000	186,050	66,950	街なみ環境整備事業
令和4年度	1,907,140	1,816,480	90,660	
令和5年度	129,000	129,000		
令和6年度	109,000	109,000		
合計	2,929,910	2,645,700	284,210	

※令和3年度以降に博物館等を中核とした文化クラスター推進事業に関する補助金を予定している。（上表には未計上）

7. 計画期間

令和2（2020）年度～令和6（2024）年度

※2025年大阪・関西万博の開催までの期間に環境を整備するため上記の期間とする。